

# 9月議会

8月28日～9月27日

9月定例議会は6日から11日まで一般質問が行われ、19人が質問に立ちました。日本共産党の山岡光広議員は岩永市長の政治団体の政治資金収支報告書未提出の顛末について、子どもの医療費無料化など6項目、西山実議員は学校の特別教室エアコン設置、消費者被害対策など4項目、岡田重美議員は第9期介護保険計画、現行の健康保険証存続など4項目について、市民の願い実現と市政の問題点を質しました。

山岡光広議員は、岩永市長の政治団体が市長当選時から5年間にわたって県選管への政治資金収支報告の提出を怠り、「みなし解散」となっているにも関わらず寄付を受け政治活動費として支出していた問題について、新聞報道にあるように失念していたというだけでは済まされない。政治的責任が問われているのではないかと質しました。市長は「市政の責任者である私自身が市政に対する信頼を損ね、市民の皆さんに多大なご迷惑をおかけしたことに、深くお詫び申し上げます」とも、今議会に給料の減額を上程させていた「と答弁しました。山岡議員は、県選管で確認したところ、未提出の場合は文書による督促があり、その後電話でも督促がされている。未提出やみなし解散後の収支は、政治資金規正法に抵触するのではないかと。収支報告に対する認識が甘いのではないかと再度質しました。これは8月1日付の京都新聞が報じたことで明らかになった事案です。市長の政治姿勢にかかわる問題について一般質問で取り上げたのは、日本共産党だけだったことも意外でした。



山岡光広議員

西山実議員は、①水道の広域化と水道料金②小中学校の特別教室へのエアコン設置の促進③消費者被害の防止対策の強化④新型コロナウイルスの感染状況とワクチン接種の4つのテーマで質問しました。このなかで、夏場は異常な暑さになることから、小中学校の特別教室のエアコン整備を早めるべきと質問しました。市長からは「特に使用頻度が多いエアコン未設置教室82室への整備に向けて早期着手、完了を目指し、児童・生徒の快適な学習環境の整備に努める」との回答を得ました。西山議員は、新型コロナウイルスの感染が7月以降拡大していることから、①現在の感染状況の特徴、②高齢者・障害者施設、学校、保育所など感染リスクの高い施設においては、感染を防止するための対策が必要、③ワクチン接種を高める取り組みについて質問しました。市からは、「感染者数が増加傾向にあると認識しており、引き続き感染動向を注視し、市民への周知に努める」と9月20日から開始する令和5年秋のワクチン接種について、「丁寧な情報提供に努める」との回答がありました。



西山実議員

岡田重美議員は、①第9期介護保険計画の策定に向けて②現行の健康保険証の存続を③甲賀市環境未来都市宣言を有効なものに④市民の営業や暮らしを脅かすインボイス中止を、の5つのテーマで質問しました。第9期の介護保険計画については、来年度介護保険料の見直しができることから、基金を活用し引き下げるよう求めました。慎重に検討したいとの答弁でした。また、特養ホームの待機者は329名との報告であり、特養ホームなど施設整備計画が必要ではないかと質しました。マイナ保険証はトラブル続きであり、本来取得も任意であることから、国に対し、現行の健康保険証を継続するよう求めるべきではないかと市長の姿勢を問いました。環境未来都市宣言について、市民へのアピール、意識を高める必要があること、企業・行政が取り組む内容を明らかにし、実効性のあるものにすべきと問いました。10月から導入されようとしているインボイス制度は、市内事業者、市民に大きな影響があるもの。国に中止を求めるべきではないかと質しました。



岡田重美議員

## 地域の課題など活発に意見交換 地域リーダーと行政による意見交換会



8月17日から9月14日にかけて、地域リーダー（自治振興会会長及び区・自治会長）と市長をはじめとする行政職員との意見交換会が、旧町単位で開催され、人口減少問題や空き家対策、地域の要望など活発な意見が交わされました。また、市が進めようとしている地域市民センターのコミュニティセンター化・指定管理に対して、「わかりにくい」「住民に説明を」「指定管理は慎重に」など疑問点や意見が出されました。

<b>日本共産党</b> <b>甲賀市議員団ニュース</b> 2023年 9月 17日 第464号	山岡 光広 甲南町森尻 16 Tel 86-2985 Fax 86-0415	岡田 重美 土山町南土山甲 78-15 Tel 66-0696 Fax 66-0696	西山 実 水口町本丸 3-28 Tel 62-3044 Fax 62-3044
---	---	--	--